

先日、総合文化会館において、西条市出身で、薬害肝炎訴訟に取り組まれている今井力弁護士との講演と市内中学校非常勤講師で、薬害肝炎問題の当事者である加地智子さんからのお話がありました。

薬害肝炎訴訟は、2002年10月にわずか16名の原告から始まりました。肝炎ウイルスは日常生活で感染することはまずなく、主に感染者の血液が体内に入ることによって感染します。感染すると肝臓の細胞が壊されていき、自覚症状がほとんどないまま肝硬変や肝がんといった病気に進行してしまいます。治療にはインターフェロン療法などがありますが、自己負担額が月7〜8万円と高額な上、6カ月〜1年半という長い治療期間を要します。副作用として頭痛・発熱・不眠や抑うつ・倦怠感などが続き、治癒率は約50%といわれています。

薬害肝炎患者からは、「夫から怠け者とさげすまされた」「感染の恐れがあるからと就職ができない」「母子感染のことを思うと子どもを産む勇気がない」「子どもの進学費用のため高額なインタールフェロンの投与をあきらめた」などの声があり、経済面での苦勞や社会的差別、本人のみならず家族まで苦しめられている実態があります。また、国とミドリ十字の対応、加地さんの実名での提訴こそが弁護団の切り札であったこと、国との和解に至るまでの経過などが分かりやすく説明されました。

加地さんからは、3人目の出産時にファイブリンゲンを投与され、急性肝炎を発症し、C型肝炎であることが判明したことや、その後、病院から今井弁護士を紹介され「自分はこのにいる。生きていくんだ」と強い思いで実名公表をしたことなどをお話しいただきました。周りの人たちは肝炎について調査し「大丈夫、感染しないから心配いらない」などと教えてくれ、励ましてくれたそうです。最後に「早く発見し、早く治療し、幸せな人生を一日でも長く過ごしていただきたい」と時々声をつまらせながらも、熱く話されました。

今回のお話は命の大切さについて考える機会となり、人権問題をすべての人の課題と考えるいくことの大切さを学びました。

防犯パトロールステッカーが寄贈されました

5月19日(火)に、(社)伊予西条法人会から市に「児童生徒 安全・安心 パトロール中」と記された防犯ステッカーが36枚寄贈されました。



「地域の子どもたちは地域で守る」との思いから寄贈されたもので、今後はパトロール中の車に取り付けて、児童・生徒の安全のため、より効果的な防犯活動につなげていくこととしています。

「花王ファミリーコンサート in 西条」の収益金で市内中学校に音楽教材機器が寄贈されました

4月19日(日)に開催された『花王ファミリーコンサートin西条「千住真理子ヴァイオリン・リサイタル」』の収益金全額で、花王(株)から市内中学校(10校)に音楽教材機器が寄贈されることとなり、6月17日(水)に花王グループである愛媛サニタリープロダクツ(株)の中西望工場長から市長へ目録が手渡されました。

寄贈いただいた教材機器は、中学校での授業や部活動などで有効に使わせていただきます。



▲各校に寄贈いただいた音楽教材機器の一部

ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。(順不同 敬称略)

■まごころ銀行へ

- ▽玉井由美子(壬生川)▽藤原清幸(周布)▽故木原常次(今在家)▽越智道博(吉田)▽大澤正樹(安用)▽西条歌謡同好会▽西条西部地区交流センター盆栽教室▽善伸会▽三芳地区民生児童委員協議会▽国興産業(株)▽平成20年度東予連合婦人会 壬生川・庄内・楠河地区婦人会

■老人ホーム明水荘へ

- ▽生け花指導 稲住育子(下島山甲)▽散髪 伊藤泰博(明神木)▽新聞 芥川秀人(神拝甲)▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子(大町)、長瀬 皋(中野甲)▽現金 ドレミの会 会員一同▽運動会への招待 みどり保育園▽ふれあい交流会 古川保育園

■老人ホーム石燧園へ

- ▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部

■特別養護老人ホーム道前荘へ

- ▽利用者介護 森本政美▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽誕生会・フラダンス (周布フラダンスG) コスモフラ